

長寿社会支える住宅を

高知市 医師や建築士らシンポ



高齢者に優しい住宅について話し合った
シンポ (高知市棧橋通4丁目)

【嶺北】健康に配慮
した木造住宅の普及を

目指すシンポジウムが
21日、高知市棧橋通4
丁目の市立自由民権記
念館で開かれ、県内の
建築士や医師らが長寿
社会を支える住宅の在

り方などを話し合っ
た。

NPO法人「シック

ハウスを考える会」

(大阪府)の主催。関

連団体の社団法人が今

冬から「こうち健康・

省エネ住宅推進協議

会」と連携し、高知型

の健康住宅モデルをつ

くろつと土佐郡土佐町

で住民調査を計画して

いる。

関係者ら約80人が集

まった会では、伊香賀

俊治・慶応大教授(建

築環境工学)が、住環

境が健康に与える影響

の調査結果を紹介。断

熱性能の高い家は、低

い家に比べて熱中症の

リスクが軽減され、血
圧の上昇も抑えること
などを報告した。

パネル討議には、県

医師会や県建築士会の

代表、尾崎正直知事ら

6人が参加。体温調節

などが難しい高齢者に

配慮した家の必要性な

どを話し合い、尾崎知

事が「住宅に健康とい

う付加価値を付け、木

材と住宅の地産外産に

もつながる。県として

も前に進めたい」と述

べた。

同協議会は研究のた

めの有識者会を創設す

る方針も確認した。

(福田一昂)

県内支社局

多
幡支社

☎08800343151
FAX08800310125

毛
宿支局

☎08800630200
FAX08800620230

水
清支局

☎08800820113
FAX08800821349

川
窪支局

☎08800000000
FAX08800000000

4年に1度の五輪に沸く英国。専門家によると、住宅と健康に関する意識が少し「進んでいる」らしい。

寒い冬ほど心疾患などで死者が増える。そんな調査結果などを基に6年前、国が健康対策として住宅の設計基準を改善した。家の断熱性や

土佐
あちこち

段差などで
危険度を細
かく評価

し、基準に満たない賃貸住宅などには改修命令を出すという。

住宅と健康の関係を見直す動きは日本でも広がつつあるが、高知が将来、その拠点になるかもしれない。

建築や医療の専門家をつくる
全国組織が今冬から3年間、土

健康住宅

佐町で住民の健康状態と住む家の関連を調べる。県内の関係団体も協力し、調査結果を基に健康住宅の高知モデルを提案したい考えた。

断熱性やバリアフリーだけでなく、調湿性に優れ、気持ち安らぐ建材やデザインも健康には役立つはず。木造住宅が健康住宅として優位に立てれば、本県の木材産業の振興にもつながる。

県内の建築士や医師が連携を深め、自分たちの活動につなげられるかどうかを鍵を握る。県など行政の後押しも欠かせない。

高齢者の多い森林県だからこそ、健康住宅のトップランナーへ。4年後の姿はいかに。

(嶺北・福田一昂)